

# 公明党議員団視察報告書

2015年7月22日

貝塚市議会議長

北尾 修 様

参加者 谷口 美保子  
中山 敏数  
前園 隆博

報告者 前園 隆博

## 【視察先】

### ① いすみ鉄道株式会社

日時 7月14日(火) 15時～17時

場所 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 264 番地

面談者 山口一衛総務部長

内容

- 1) 経営不振からの多岐にわたる見直し、新たな事業への取組みについて  
鉄道事業での売上げが約半分で、それ以外は物品販売、イベントなどの旅行業他で半分の売上げとなっており、レストラン列車などの企画での売上げが順調である。
- 2) 地域の鉄道としての住民との関わりについて  
町が事務局となり約 300 人の友の会またボランティアのいすみ鉄道応援団による清掃、草むしりなどしてもらっている。また小中高校、商工会、観光協会とも連携して関わっている。
- 3) 観光鉄道としての様々な取組みについて
  - \* ムーミン列車の運行  
ムーミンキャラクターの使用契約し、イメージアップをおこなっている。
  - \* キハ 52、キハ 28 観光急行列車の運行  
全国で唯一残存するディーゼルカーを導入し、運行
  - \* レストラン列車などの企画列車の運行
  - \* オリジナルグッズや地元産品の物販  
直営店舗、オンライン通販、イベントへの出店など
  - \* サポーター・オーナー制度  
駅名ネーミングライツ、花壇、枕木、キハ車両オーナー
  - \* インフォメーション  
社長ブログ、ホームページ、マスコミ等の積極的活用など

感想：通勤、通学客があまりなく、鉄道事業での収入増が見込めないことより、本数を減らし、物品販売、イベント事業での収入を増やしているのは大変参考になりました。また、地域の方とのコミュニケーションがよくとれており、住民の方から、応援してもらっていることを強く感じました。

② 南房総市役所 丸山分庁舎

日時 7月15日(水) 10時～12時

場所 千葉県南房総市岩糸 2489 番地

面談者 三幣貞夫教育委員会教育長

鈴木和明教育総務課、学校給食センター所長

宇治原洋一教育委員会事務局次長

奥津基一教育総務課課長

伊藤健一教育総務課給食係係長

水島孝夫子ども教育課課長

西田勝幸子ども教育課課長補佐

川名敬紀子ども教育課教育主事

阿部美津江南房総市市議会議員

内容

1) 学校給食の完全米飯化導入までの経過について

教育長の判断により、平成22年度から準備、平成23年4月から週5日ごはん給食を実施。それまでは週3日がごはん、週2日パン、麺であったが、パン業者は米の炊飯業もかねており、そのまま委託できた。また、同時に地元の食材を使用する地域生産者とのネットワーク形成や流通システムも構築した。

2) 完全米飯化導入後の生徒、児童、保護者の反応、感想等について

和食にすることで、おかずが変わり、脂質、エネルギー、食塩量も基準値となった。肉より魚類が増えた。地場産物が増えたなど。保護者から、否定的な意見もありますが、食育の面で肯定的な意見が多い。

3) 現在の課題、問題点について

農家と給食センターのニーズにズレがある。安定供給など。まだご飯給食の良さが浸透していない。地産地消のための地元協力者の発掘

4) アレルギー対策について

個別に調査、アレルギー対応プランを作成する。献立作成時に考慮するが、小学校・中学校については、特に除去食、代替食の対応は行わない。

感想：食育、地産地消という点でかなり参考になりました。また、教育長による強いリーダーシップを感じました。

③ NPO 法人ふれあいの家—おばちゃんち

日時 7月15日(水) 14時～17時

場所 東京都品川区北品川 2-28-19 他

面談者 幾島博子代表理事

目的 地域ぐるみで子育てを通じ、つながりを作っている中心拠点の成り立ちと現況について

内容

2003年設立。正会員35名、支援会員約500名、賛助会員11名、年間予算5,000万円で事業所は3箇所。5つの広場(ふれあい広場・まなびあい広場・あずかり広場・つながりあい広場・きかくの広場)、21の事業を行っており、行政から約3,000万円の補助、委託を受けている。

感想：創設者の強い思いがあり、組織として発展してきたことを感じました。品川区に特化していますが、地域から信頼されている様子を感じました。また、ボランティア精神を持つ方が支えていることも感じました。